

# 重点施策評価検証シート【平成29年度実績】

項目	Plan1 “農業”の新たな可能性
----	-------------------

## 1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	農業を次世代に引き継ぐため、農業のさらなる発展に向けた取り組みを進めます。		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や営農指導による農業技術の継承を強化し、農業後継者の育成確保、新規就農支援を進めるとともに、法人化支援等の農業経営支援、農地集積等の基盤整備により、次世代へ引き継ぐ力強い農業の形成に取り組みます。</li> <li>・安全・安心な農産物の生産を進めるうえでの地域課題の解決に努め、鷹栖産物の魅力を最大限に生かし、活気のある農村の発展を目指します。</li> </ul>		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	29年度完了時点での達成状況
新規就農者	10人	H27～31年度の累計	
新規法人参画	10件	農業生産法人の新規設立 H27～31年度の累計	
大区画増	853.1ha	圃場大規模化の整備面積 H27～31年度の累計	
集約化率	90%	担い手への農地集約化率 H31年度完了時点	○
農業作付面積	3,359ha	農業者別作付面積 H31年度完了時点	
ブランド化	5品目	農産物新規ブランド化 H31年度完了時点	

## 2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>新規就農者の研修施設である「あったかファーム」を平成30年度に開設とし、第三者経営継承事業の推進に向けて調査を進めるなど、施策全体として前進しているので継続していく。ブランド化の取り組みは、新規ブランドの調査研究とともに、既存ブランドを守り育てることの支援についても重視していく。</p>
---

## 3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>新規就農者確保とともに法人化を進めるという枠組みは評価できるので、地道に積み上げていくことが大切。ブランド化に関しては、本項目分野においてブランド化の担う役割や既存ブランドをいかに守るかの方針など、あらためて整理して取り組む必要がある。</p>
---

# 重点施策評価検証シート【平成29年度実績】

項目	Plan2 地域経済に“活力”を
----	------------------

## 1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	商工業の発展を支援し、安定した雇用の創出を図ります。		
施策の方向性	・商工会や金融機関との連携強化を図り、中小企業者の経営安定や商店街の活性化を推進し、地元での購買力向上を目指します。		
重要業績評価指標(KPI)	目標値	説明	29年度完了時点での達成状況
販売活動促進事業利用件数	20件	H27～31年度の累計	
新規開業支援事業活用件数	5件	H27～31年度の累計	
新規参入企業数	7社	H27～31年度の累計	
雇用促進対策事業利用件数	10件	H27～31年度の累計	

## 2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>新規開業支援事業は利用実績が順調に推移するなど、商店街の活性化と事業活動の継続に一定の成果を得ているが、少子高齢化や購買意識の変化の影響もあり、地元商店街の利用機会全体としては課題は多い。また、雇用に関して町内雇用の促進に一定の前進はあるが、十分な成果とまでは至っていない。施策全体として積み重ねはあるが、より一層の取り組みの工夫が必要。</p>
--

## 3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>新規参入企業の誘致など、数値から見ると成果が見えていないといわざるを得ない部分もある。雇用に関しては、昨今は人材不足という課題もあるため、雇い手と働き手のニーズをうまくマッチングさせるような取り組みも重要である。</p>
---

# 重点施策評価検証シート【平成29年度実績】

項目	Plan3 地域資源の“新たな展開”
----	--------------------

## 1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	観光資源の確立により、交流人口の増加を図ります。		
施策の方向性	・既存の観光施設のほか、地域性を生かした新たな観光資源の発掘を進めます。 ・特産品開発や鷹栖産商品のブランド化を推進し、地域資源を活用した地場製品の販売促進、開発研究に努めます。		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	29年度完了時点での達成状況
イベント等における観光者数	145,000人	観光関連施設等の来場者数(町把握) H31年度完了時点	
冬季体験事業数	5事業	H31年度完了時点	
グリーンツーリズム実施箇所数	5カ所	H31年度完了時点	
地場産品として確立している商品数	50個	H31年度完了時点	

## 2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>地域おこし協力隊員の活動と連動し、新たな食の観光資源化に取り組むなど、地域の資源を掘り起こし磨き上げていく取り組みを積み重ねているところ。評価指標に関して積み上げはあるが、各資源を有機的につなぎ、施策全体で底上げ、魅力的な地域性を創出する取り組みを一層推進していく必要がある。</p>
---

## 3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>評価指標の達成だけに視点をとどめず、他分野と観光の横連携や、動線や見せ方の工夫など、課題解決の取り組みを進め、施策全体の底上げを進めていくべき。観光受け入れ施設を新たに増やしていくことにはならないと思うので、既存資源を磨き上げる、観光化していく視点が重要。</p>
---

# 重点施策評価検証シート【平成29年度実績】

項目	Plan4 地域の“宝”子どもを育む
----	--------------------

## 1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	若い世代が子どもを産み育てやすい環境をつくれます。		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の保育や学校教育、放課後児童クラブなど、様々な子育て支援の拡充や質の向上を進め、地域全体での子育て環境づくりを目指します。</li> <li>・子どもの発達段階を踏まえ、成長に応じた支援体制の確立を目指します。</li> <li>・ひとり親世帯など生活支援が必要な家庭への支援を継続して進めます。</li> </ul>		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	29年度完了時点での達成状況
出生数	50人	年間出生数 H31年度完了時点	
不妊治療助成制度利用者	10人	H27～31年度の累計	
保育園における待機児童なしの継続	待機児童なし	H31年度完了時点	○
子育て支援センター年間利用者延べ人数	8,000人	H31年度完了時点	
放課後児童クラブにおける待機児童なしの継続	待機児童なし	H31年度完了時点	○

## 2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>認定子ども園整備や子育て支援相談体制の充実など、保育環境、体制の整備を進め、待機児童がなく、各施設が機能を果たしていることは、子どもを産み育てやすい環境づくりとして一定の評価はできる。出生数の評価指標達成は厳しい見込みではあるが、住民の満足度を高める取り組みを丁寧に継続し、長期的に成果として反映できるような視点も併せ持って施策を進める。</p>
--

## 3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>相談体制の充実や施設開設回数の増加など、事業実績から子育て支援の環境が充実しているということは評価できる。中高生など子どもの居場所づくりに関する取り組みは、今後の大きなテーマとなり得るので、当該対象者も主体として巻き込みながら、地域コミュニティのなかで関連を持って望ましい整備がされるように期待する。</p>
---

# 重点施策評価検証シート【平成29年度実績】

項目	Plan5 みんなで目指す“生涯元気”
----	---------------------

## 1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	誰もが安心して安全に暮らせるまちの実現		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もがいつまでも住み慣れた地域で生活できるよう、社会福祉協議会と連携を図りながら、地域福祉の充実に努めます。</li> <li>健康で安心して暮らせるよう、健康づくりに関する取り組みの推進を図ります。</li> </ul>		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	29年度完了時点での達成状況
地域サロン設置数	15カ所	H31年度完了時点 (10⇒15へKPI上方修正)	
障がい者雇用の受け入れが可能な企業数	5社	H31年度完了時点	○
各種がん検診受診率	50%	(胃・肺・大腸・乳・子宮)がん検診 H31年度完了時点	
特定健診受診率	50%	H31年度完了時点	
介護認定者平均年齢	86歳	H31年度完了時点	

## 2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>地域サロンでは自立経営へ移行するサロンが生まれるなど、住民による福祉活動が熱心に取り組まれており、今後も住民活動と行政とで連携した取り組みを進めていく。健康づくり分野では、事業内容を改善しながら取り組んでいるが、評価指標の目標値達成は現時点では厳しい見込み。健康づくりは住民ニーズも高い分野であるので、政策の横連携などの工夫、改善を重ね、より一層の取り組み推進を図る。</p>
---

## 3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>健康づくりは、評価指標の分析を進め、特にどの層への働きかけが必要かの見極めや、事業のターゲット設定を明確にしたうえで効果的なアプローチを探り、住民の安心の実現に向けて施策の一層の推進にあたるべき。</p>
---

# 重点施策評価検証シート【平成29年度実績】

項目	Plan6 豊かな未来へ“学校づくり”
----	---------------------

## 1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	地域の特色を生かした教育を展開し、未来を担う心豊かな子どもを育みます。		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、きめ細やかな対応ができる体制づくりを推進し、子どもたちが充実した学校生活がおくれる環境づくりに努めます。</li> <li>・子どもたちの基本的生活習慣を定期的に把握するなど、学校・地域・家庭が連携し、地域全体での教育環境づくりを目指します。</li> <li>・町立以外の幼稚園や高校、養護学校との連携を密に図り、情報を共有しながら、地域の特色を生かした教育を推進します。</li> </ul>		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	29年度完了時点での達成状況
鷹栖町生活習慣見直し運動の継続実施	継続	H31年度完了時点	○
町内企業と連携したキャリアウィークの継続実施	継続	鷹栖中学校における事業 H31年度完了時点	○
鷹栖高校における介護職員初任者資格取得者数	50人	介護職員初任者研修受講生 H27～31年度の累計	○
交流事業利用者数	75人	姉妹都市、交流自治体との事業利用者 H27～31年度の累計	

## 2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>各学校や教育機関、住民等と連携し、着実な事業実施による教育環境整備を継続できている。一方で、困り感のある子どもへの対応など、さらに力を入れて取り組むべき課題もある。今後は地域と学校との連携を重視するコミュニティスクールの導入を進め、教育環境のより一層の充実に取り組んでいく。</p>
--

## 3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>次世代の育成に向けてとても大切な分野で、鷹栖高校での介護人材育成や鷹栖中学校でのキャリアウィークの充実など、非常に先駆的な取り組みも進められているので、長く継続されより事業が推進することを期待する。子どもたちの「生活習慣」と「学力、体力向上」をとともに意識した、子どもを総合的に育む視点を持ったまちづくりを進めてほしい。</p>
---

# 重点施策評価検証シート【平成29年度実績】

項目	Plan7 “たかすてき”な暮らしのススメ
----	-----------------------

## 1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	総合的な住環境の整備等により、移住・定住の促進を図ります。		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住を希望している方にとって魅力ある施策を展開するとともに、移住定住に関する情報発信の強化に努め、多方面から情報収集ができる環境づくりを推進します。</li> <li>・新たな産業の創出と雇用拡大により、移住・定住希望者が安心して働ける環境づくりに努めます。</li> </ul>		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	29年度完了時点での達成状況
定住促進補助金による転入者数	350人	町の補助制度利用した転入者数 H27～31年度の累計	
移住相談件数	50件	町の相談窓口実績 H27～31年度の累計	○
空き家バンク登録件数	40件	H27～31年度の累計 (10⇒40へKPI上方修正)	○
ちょっと暮らし利用件数	10件	H27～31年度の累計	
公営住宅入居率	90%	H31年度完了時点	
鷹栖町からの年間流出人口平均	200人	年間転出者数の平均 H27～31年度の累計	
パレットヒルズを訪れた人の満足度	70%	H31年度完了時点	○

## 2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>官民連携や政策間連携を生かし、事業の改善や新規拡充を図りながら、毎年の積み上げにより移住定住の推進に一定の成果を得始めている。人口減少局面における地域コミュニティの望ましいあり方に寄与する施策の実現に向け、子育て・教育環境や福祉環境の充実という住民の暮らしの満足度を高める定住対策を土台として、長期的視点をもってまちの魅力の情報発信力の最大化に取り組んでいく。</p>
---

## 3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>目標値に達していない指標もあるが、全体的に前向きに伸びている。人口の社会増減や転入者数という成果にもより一層結びつくように、引き続き事業の推進を求める。</p>
---

# 重点施策評価検証シート【平成29年度実績】

項目	Plan8 暮らしの安心“小さな拠点”
----	---------------------

## 1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	市街地及び各集落において、地域住民が生活しやすい環境づくりを推進し、小さな拠点としての整備を図ります。		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中心的役割を果たす公共施設等の適正な管理を行い、地域住民の活動拠点施設としての維持に努めます。</li> <li>・地域の人口動態を注視しつつ、交通ネットワークの形成や自然環境との共生など、将来を見据えた拠点づくりを推進します。</li> <li>・集落生活圏を維持するための総合的な防災体制の構築を目指します。</li> </ul>		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	29年度完了時点での達成状況
年間住民センター利用者数	40,800人	H31年度完了時点	
図書室の利用者数	5,600人	H31年度完了時点	
自然災害による人的被害件数ゼロの継続	継続	H27～31年度の累計	○
新たな交通体系の確立	確立	町営バスのデマンド化実施 H31年度完了時点	○
長寿命化計画に基づく整備割合	47%	H31年度完了時点	
環境基本計画に基づく活動進捗度	100%	H31年度完了時点	
新規施設における新エネ・省エネ対策の対応割合	100%	H31年度完了時点	

## 2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

施設改修や交通体系の確立、運営の改善など、生活しやすい環境づくりの実現に向けて事業が前進している。後期計画期間に向け、活動拠点整備と連動した住民活動の活性化支援をより一層推進し、各地区の実態に応じた地域運営のあり方について、ビジョンの構築を進めていく。

## 3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

住民の活動・交流拠点施設であるべき、住民センターや図書室等が、住民ニーズと本来の目的に沿った運営を行うことで施策の成果を最大にできるよう、より一層の工夫改善に取り組んでほしい。新たに改修整備される鷹栖地区住民センターにおいては、特に拠点施設としての役割を期待する。



# 重点施策評価検証シート【平成29年度実績】

項目	Plan9 “手と手をつなぐ”まちづくり
----	----------------------

## 1. 施策の方針と評価指標

施策の意図	地域住民の声を聞きながら協働のまちづくりを推進します。		
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ニーズへの対応や身近な課題を解決する取り組みを促進します。</li> <li>・「町民」「行政」「町民と行政」それぞれの役割を明確にし、連携を図りながら地域の活性化に努めます。</li> <li>・町民のみならず、鷹栖町を応援してくれるファンを含め、交流の拡大を目指したまちづくりを展開します。</li> <li>・上川中部定住自立圏を構成している市町等、各地域との連携による広域業務の推進を図ります。</li> </ul>		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値	説明	29年度完了時点での達成状況
鷹栖町振興補助金活用件数	24件	H31年度完了時点	○
ホームページ年間アクセス数	250,000件	H31年度完了時点	
鷹栖町フェイスブック“いいね”件数	1,500件	H31年度完了時点	
まちづくり懇談会参加者数	300人	H31年度完了時点	
ふるさと納税件数	4,000件	H31年度完了時点	○
サポーター会員数	2,500人	町ふるさとサポーター制度 H31年度完了時点	

## 2. 施策の達成状況と今後の方向性(事務局評価)

<p>プロスポーツチームとの連携による交流の拡大など、新たな取り組みや事業内容の改善により施策として前進している部分がある一方、目標値に達していない評価指標の分析を進め、より一層の工夫を講じていくことが必要。住民参加の促進と交流の拡大による地域活力の増加に向け、さらなる事業推進に向けて努力する。</p>
--

## 3. 鷹栖町地方創生戦略策定会議(外部評価)

<p>達成状況が見えづらいとしても、取り組みを継続していくことに重要な意味がある分野である。努力が実っているように見える数値もあり、引き続き事業の推進を望む。</p>
---